

控えが必要な方は、コピーして下さい

## 組 合 員 台 帳

支 部 名	※基本コード	※登録番号
-------	--------	-------

※印は記入しないで下さい。大印工組事務局で記入します。

■別紙の記入要領を参考にご記入下さい。


### ～新規加入申込書への個人情報保護による記載事項～

加入申込書及び組員台帳にご記入いただきました事項を当組合及び全日本印刷工業組合連合会にて共同利用します。また、企業名、代表者名、電話番号、ファクシミリ番号、メールアドレスは、名簿として配布もしくは販売し、ビジネス交流の情報提供のために利用することがあります。同意いただけない場合は、下欄にレ印をご記入下さい。

同意しない

## 1. 企業の概要

令和 年 月 日現在

ふりがな	電話番号 ( ) -			
企 業 名	FAX番号 ( ) -			
	資 本 金	万円		
本社所在地	〒 ( )			
E- m a i l				
U R L				
ふりがな	自 宅 電 話 番 号 ( ) -			
代 表 者 名	代 表 者 役 職 名			
生 年 月 日	明 治 ・ 大 正 ・ 昭 和 ・ 平 成 年 月 日 生			
創 業 年 月 日	明 治 ・ 大 正 ・ 昭 和 ・ 平 成 年	株 式 ・ 有 限 合 名 ・ 合 資 其 他 ( )		
法 人 成	明 治 ・ 大 正 ・ 昭 和 ・ 平 成 年			
本 社 所 在 地 以 外 の 工 場 数	箇 所 (うち府外 箇所)	其 他 ( )		
 営 業 所 数	箇 所 (うち府外 箇所)			
就 業 人 員	常 勤 役 員 人	従 業 員 人	嘱 託 ・ パ ー ト 人	合 計 人
(備 考)				



# 記入方法について

## 1. 「企業の概要」欄の記入について

嘱託・パートの人数は、その労働時間が常用従業員の所定労働時間より短い場合、常用従業員の所定労働時間を基にして、下記の例を参考に換算して、整数でご記入下さい。

(例) パート6名、いずれも一日当たりの労働時間が5時間の場合  
 パートの労働時間合計 30時間  
 $30時間 \div 8時間$  (常用従業員の所定労働時間) = 3.75  
 パート人数 4名 (小数点以下は四捨五入して下さい)

## 2. 「純売上高と純加工高」欄の記入について

年間純売上高は直近の事業年度(1年間)の決算書、または売上台帳を基に記入して下さい。就業人員数は必ず「1. 企業の概要」の就業人員合計数と一致させて下さい。

年間純売上高…売上高から値引き、返品等を引いたものです。

外注加工費…デザイン、イラスト編集、組版、刷版、写真製版、印刷代、製本加工代等です。

材料費…用紙、インキ、製版材料代等です。

減価償却費…機械設備、建物などの償却資産の償却費。特別償却や割増償却については各企業の経理処理による。

リース料・貸借料…借地、建物、機械設備のうち、該当する全てを対象とします。

## 3. 「売上高の製品別構成比」欄の記入について

「2. 純売上高と純加工高」欄の1に記入した年間純売上高を100%として製品別にその構成比率を記入して下さい。また、全体の売上高に占める官公需の比率も併せて一番下の欄に記入して下さい。

大分類	中分類	定義
1. 出版印刷	定期出版印刷	出版社等から定期的に発行される出版物
	不定期出版印刷	出版社等から不定期に発行される出版物
	その他出版印刷	上記以外の出版物
2. 事務用印刷	事務用伝票・ビジネスフォーム印刷	伝票類、各種帳票類および電算機で使用される連続伝票
	事務用品印刷	官庁、企業、学校等で事務処理上使用されるノート、封筒などの事務用品
3. 商業印刷	宣伝用印刷	企業等の広告宣伝、販売促進などに使用される印刷物
	業務用印刷	官庁、企業、学校等の内部で使用される報告書、議事録、名簿類など主として業務に利用される印刷物
4. 証券印刷	一般証券印刷	金残または信用に係る証書類
	カード類印刷	銀行口座の入出金、各種代金決算などに使用される磁気カード及びその他のカード類
5. 包装その他 特殊印刷	包装資材印刷	食品、薬品等のパッケージ印刷物
	その他特殊印刷	建装材や布地など紙以外のものに対する印刷及び印刷技術を応用した精密電子部品(包装資材に関するものは除く)
6. ソフト・ サービス	印刷付帯サービス	印刷物の受注に付帯するサービス
	ニューメディア 関連サービス	印刷工程の電子化技術を活用した情報の加工・蓄積・提供に関するサービス

#### 4. 「印刷機械の保有」欄の記入について

下記の記入説明に従って、全ての設備を記入して下さい。同一仕様・同一サイズの機械がある場合にも、1台ごとに1欄を用いて記入して下さい。

なお、記入にあたっては必ず略号を用いて記入して下さい。（記入欄不足の場合は、コピーして用紙を足して下さい）また、機械の取得年は、西暦は用いずに〔昭和・平成〕等の元号を使用して記入して下さい。

★動作別欄には「自動」・「手差」のどちらかを○で囲んで下さい。

★色数欄には、単色機は1 C、2色機は2 C、4色機は4 C、両面各1色機は1/1、両面各2色機は2/2というように記入して下さい。

機種	動作別	サイズ	色数	取得年月
	自・手			年月

★元号を使用して記入して下さい。

★機種欄には次の略号を用いてご記入下さい。

サイズ	略号
凸版平台	凸
凸版枚葉輪転	凸枚
凸版ブラテン	凸ブ
凸版長巻輪転	凸輪
平凸2色	平・凸
オフ枚葉	平
オフ輪転	オフ輪
フレキソ	フレ
カーボン	カ
シール	シ
フォーム (輪・平、追刷機を含む)	ホ
グラビア (紙)	グ輪転 グ枚葉
電子印刷機 (注1)	電
印刷機附属電子制御装置 (注2)	附

※その他の機械は機種欄に直接機械名を記入して下さい。

★サイズ欄は必ずA列、B列でご記入下さい。

サイズ	略号
菊版倍判	A 0
菊版全判	A 1
菊版半裁	A 2
菊版四裁	A 3
菊版八裁	A 4
四六版倍判	B 0
四六版全判	B 1
四六判半裁	B 2
四六判四裁	B 3
四六判八裁	B 4

※その他のサイズは、サイズ欄に直接記入して下さい。

(注1) 電子印刷機の例として、次の様なものがあります。

- ①E-PRINT、②ドキュテック、③デジタルカラープレス、④クロマプレス、⑤インフォプリント⑥電子印刷システム、等。

(注2) 印刷機附属電子制御装置とは、

メカトロ自動制御装置付の印刷設備のうち、刷版自動取付装置、インキコントロール装置、ブランケット自動洗浄装置などのメカトロ自動制御装置を単体で導入した場合はいいです。

★ご不明な点やご質問がある場合には、大阪府印刷工業組合TEL(06)6353-3035まで、お問い合わせ下さい。